

令和8年6月定期総会 議事に関する説明

特定非営利活動法人 産学連携学会
会長 小野 浩 幸



第12期運営の基本理念

『温故 刷新』

（20年余の歴史に真摯に向き合い
社会、産、学の環境変化に対応して
学会・学会員発展に向けた改革）



産学連携学会の蓄積を活かし、
会員と学会のアピアランスを高める

第12期産学連携学会 5つの柱

1.政策担当者とのパイプの強化・再構築

⇒ 省庁等との関係強化、提言、政策・施策情報の会員向け発信

2.学会誌投稿・査読システム改革

⇒ 査読のスピードアップと投稿前論文サポートの創設

3.会員数増強のための広報の強化

⇒ 学会ホームページのリニューアル、必要な情報を届ける機能の強化

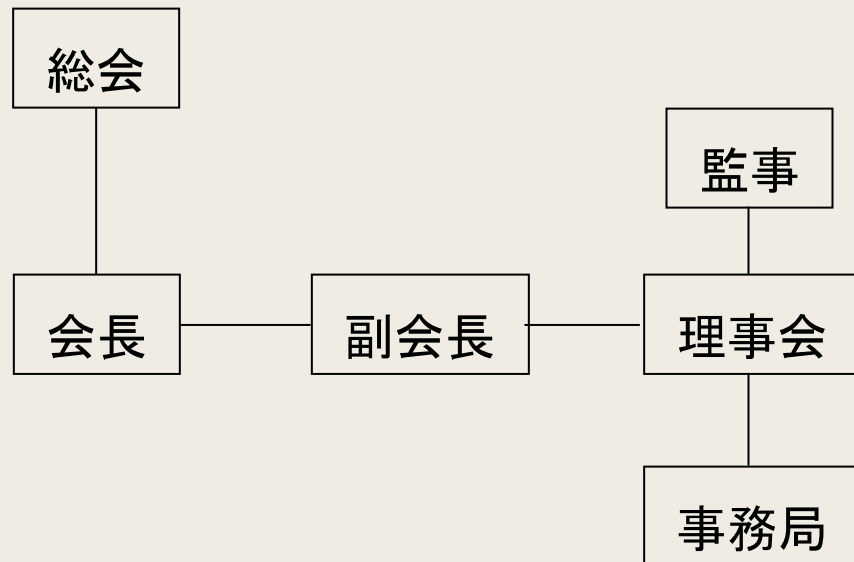
4.国際比較研究の強化

⇒ 日韓ワークショップの日本開催、他学会や国際組織等との交流

5.重要事業の積極予算と選択と集中による経費の削減

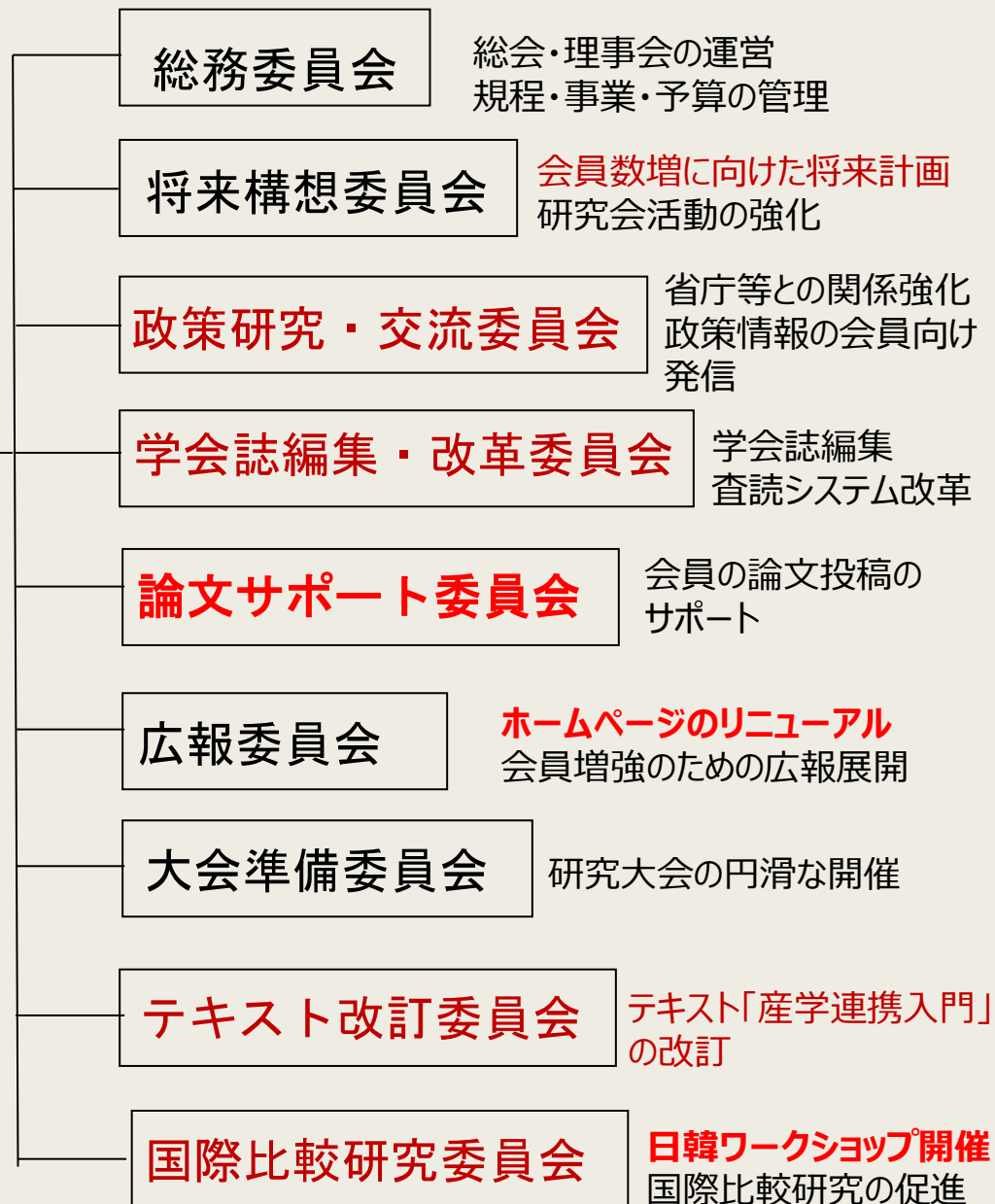


【組織図】



5つの新しい委員会を創設
既存委員会にも新たなミッション

主な分担業務



令和7年度の主な事業

- 1. 23回大会の開催**：令和7年6月19日～20日函館アリーナにおいて開催
(参加者数403名、発表件数119件)
- 2. 学会誌の発行**：学会誌「産学連携学」(電子版) 第21巻第2号(令和7年6月)、第22巻第1号(令和7年12月)を発行
- 3. 学会ホームページのリニューアル**：サービスの向上及びセキュリティの強化とSNSとの連携などの情報発信機能の強化を図った
- 4. 海外学会との交流**：第8回日韓ワークショップを開催(令和7年11月20日～21日に伊香保温泉ホテル天坊(群馬県渋川市))

令和 7 年度の主な事業

- 5. **産学連携専門人財の育成**：知的財産管理技能士検定3 級対策セミナーを令和8年1月6日～28日の期間に全 8 回にわたるオンライン講座形式で行った
- 6. **オーダーメイド型研修**：令和 8 年2月4日に天理大学FD研修会として地域連携研究に関してオンラインによる研修を行った
- 7. **論文サポート**：論文サポート委員会を新たに設けて希望者に対する論文投稿に向けたサポートを開始した
- 8. **メールニュースの発行**：第1433号～第1591号発行（159回）のメールニュースを全会員に提供

令和7年度 支部・研究会活動

各支部活動

- 1. 北海道支部**：「第12回東日本リエゾンカンファレンス」の開催（令和8年3月7日：北見市、東北・北関東支部との共催）、北海道科学大学創テクラボセミナーの後援（令和7年12月21日：札幌市）
- 2. 東北・北関東支部**：「第11回東日本リエゾンカンファレンス」の開催（令和7年7月4日～5日：岩手県八幡平市、北海道支部との共催）、「共同事業シンポジウム」の開催（令和7年12月6日：仙台市、地域活性学会東北支部、アジア市場経済学会との合同）
- 3. 中部・北陸支部**：事業の検討、支部活動に関する検討
- 4. 関西・中四国支部**：「第17回研究・事例発表会」の開催（令和7年12月11日～12日：岡山市）
- 5. 九州支部**：産学連携ネットワーク会議開催（令和8年3月5日：熊本市）

令和7年度 支部・研究会活動

研究会活動

- 1. リサーチ・アドミニストレーション研究会：**第23回大会オーガナイズドセッション「“地域におけるスタートアップ、産学連携の定着とその支援のリアル～ウェルビーイングと地域愛～」開催（令和7年6月19日：函館市）
- 2. 地域社会実装研究会：**「企業視点で考える地域社会実装～デジタルマーケティングと産学官連携の可能性～」を開催（令和7年10月2日：オンライン）
- 3. 行動経済学・社会システム研究会：**「愛媛県での水産プロジェクトの分析」を学会誌に投稿、掲載
- 4. 日韓比較研究会：**第8回日韓ワークショップ開催をサポート（令和7年11月20～21日：群馬県渋川市）
- 5. 産学連携における知的財産権研究会：**第23回大会オーガナイズドセッション「知的財産権・知財専門員制度とビジネスコートどう捉えどう応援するか」開催（令和7年6月19日：函館市）

令和7年度 支部・研究会活動

研究会活動

6. 地域連携教育研究会：第23回大会オーガナイズドセッション「地域連携教育の課題と苦悩—連携疲れに陥らないために—part2」開催（令和7年6月19日：函館市）、第8回研究会「ESDの事例から考える企業を核とした大学と地域との連携」（令和7年5月15日：オンライン）、第9回研究会「企業が求める学生を育てるため」（令和7年10月30日：オンライン）、第10回研究会「大学生による地域連携教育・研究報告」（令和8年3月9日：オンライン）

令和7年度 その他の活動

- 1. 各種イベントや展示会での出展**：「アグリビジネス創出フェア2025」への1 dayブース出展（令和7年11月27日：東京ビッグサイト）
- 2. 後援事業**：「輸出管理 DAY for ACADEMIA 2025」（輸出管理 DAY for ACADEMIA実行委員会主催、令和7年12月5日：東京都）、「アグリビジネス創出フェア2025」（農林水産省主催、令和7年11月26～28日：東京ビッグサイト）、「第25回ビジネスフェア」（西武信用金庫主催、令和7年11月26日：新宿住友ビル三角広場）

2号議案：令和7年度決算報告

	金 額	小計・合計
【A】 経 常 収 益		
1 受取 会費		4,606,400
入会金	158,000	
年会費	4,448,400	
2 受取 寄附金		1,700,000
受取寄附金	1,700,000	
3 受取助成金 等		312,837
雑収入	312,837	
4 事業 収益		3,128,590
研究事業収益	2,613,500	
啓発事業収益	178,750	
講演・研修事業収益	336,340	
5 その他の収 益		11,036
受取利息	11,036	
経 常 収 益		9,758,863

会費収入が前年比6万7千円余増額しました

函館大会に対する企業等からの寄付金を計上しました

函館大会の参加者増により参加費収入が増えました

知財検定講習、オーダーメイド研修など積極的に取り組みましたが予算額見込には届きませんでした

前年度比118万余の収益増となりました

2号議案：令和7年度決算報告

【B】 経 常 費 用		
1 事業費		
(1) 人件費		370,833
謝金	95,394	
雑給	275,439	
(2) その他経費		6,186,348
消耗品費	305,998	
リース料	63,910	
旅費交通費	287,233	
通信費	64,650	
支払手数料	1,084,428	
会議費	283,050	
外注費	999,763	
印刷費	1,262,976	
会場費	631,670	
情報交換会費	1,202,670	
事業費計		6,557,181
2 管理費		
(2) その他経費		3,536,845
消耗品費	3,051	
租税公課	1,100	
減価償却費	13,620	
通信費	304,020	
支払手数料	120,990	
外注費	3,094,064	
管理費計		3,536,845
経 常 費 用 計		10,094,026
当 期 経 常 増 減 額 【A】－【B】 . . . ①		-335,163

大会会場借上・設営費等による大会経費増

アーカイブ資料の電子書籍化経費
学会誌の印刷費高騰などにより
支出が前年度比150万余増加となり
収支は335,163円の赤字となりました

監査報告書

別紙資料—5

特定非営利活動法人産学連携学会の令和 7 年度事業報告及び収支決算の状況を監査しましたところ、適正に処理されていることを認めます。

令和 8 年 5 月 2 5 日

特定非営利活動法人 産学連携学会

監事

川石渡 孝 

特定非営利活動法人 産学連携学会

監事

矢野 卓真 

3号議案：令和8年度事業計画

1. **大会の開催：** 第24回大会（金沢大会）を6月18日～20日に開催
2. **学会誌の発行：** 「産学連携学」（電子版）を年2回発行
3. **学会誌投稿論文のサポートを本格化**
4. **産学連携に関する政策研究を活発化、学会内外に情報発信**
5. **産学連携学入門の改訂新版の編集（継続）**
6. **メールニュース：** 随時の発行
7. **第9回日韓ワークショップ：** 韓国大田（テジョン）市にて開催（7月16日）
8. **他学会との連携交流や研究会活動を通じて国際比較研究の強化**

3号議案：令和8年度事業計画

各支部活動

- 1. 北海道支部：**東北・北関東支部と連携した東日本リエゾンカンファレンス及び地域産学連携ジョイントセミナーを開催、産学官連携交流のためのリエゾン交流セミナー等の開催、支部HP 運用
- 2. 東北・北関東支部：**福島大会（令和8年9月10日：コラッセふくしま）を開催、産学連携学会・地域活性学会・アジア市場経済学会三学会ラウンドテーブル（11月または12月）を開催、北海道支部と連携した東日本リエゾンカンファレンスを開催予定
- 3. 中部・北陸支部：**地域課題検討会（年数回程度 オンライン開催）、幹事会開催（年2回 研究会、検討会に合わせて）
- 4. 関西・中四国支部：**令和8年12月頃に第17回研究・事例発表会を開催予定、幹事会（令和8年5月、10月、12月、令和9年3月）の開催を予定
- 5. 九州支部：**産学連携ネットワーク会議でセミナーの開催（半導体産業との連携手法や新たに生じる地域課題、地域間連携等から抽出したテーマを題材として企画）

3号議案：令和8年度事業計画

研究会活動

- 1. リサーチ・アドミニストレーション研究会：**全国大会におけるオーガナイズドセッション（令和8年6月）および研究会（令和8年12月、もしくは令和9年2月頃：）を開催予定、研究会幹事会の開催
- 2. 地域社会実装研究会：**「オープンイノベーション」「地域資源活用認定制度」をテーマとして研究会（3回程度）の開催
- 3. 日韓比較研究会：**日韓ワークショップの開催支援と参加（7月16日韓国大田市）、韓国産学協力学会とメール等による連携強化
- 4. 産学連携における知的財産権研究会：**金沢大会オーガナイズドセッション「我が国知財権研究を知財専門委員制度等から具体事例を通じて考える」の開催、研究会の開催
- 5. 地域連携教育研究会：**「行政（官）サイドから見た産学連携／地域連携教育」をテーマに研究会（3回：オンライン）の開催、金沢大会にてオーガナイズドセッションの開催

第4号議案：令和8年度事業予算計画

別紙資料－6

科目		金額（単位：円）	
収入			
1. 会費収入			
	会費	4,400,000	
	入会金	150,000	4,550,000
2. 事業収入			
	研究事業	3,000,000	
	啓発事業	200,000	
	講演事業	300,000	3,500,000
当期収入合計（A）			8,050,000
支出			
事業費			
	研究事業	3,500,000	
	啓発事業	2,500,000	
	講演事業	500,000	6,500,000
管理費			
	事務局委託料	3,090,000	
	通信費	320,000	
	支払手数料	120,000	
	減価償却	20,000	3,550,000
当期支出合計（B）			10,050,000
当期収支差額（A）－（B）			- 2,000,000
前期繰越収支差額（C）			4,372,141
次期繰越収支差額（A）－（B）＋（C）			2,372,141

令和7年度の実績をベースとした収入見込み。

令和7年度実績に準じた額を見込む。
人材開発事業や学会誌販売等の事業収入確保に継続的に取り組む。

令和7年度の支出実績に加えて、
未執行重要事業のための予算を積極計上
①ホームページのリニューアル 100万円

管理費は前年度同

2,000千円の赤字予算

5号議案：令和8年度表彰者

功労賞：松本 毅（一般社団法人 Japan Innovation Network）

業績賞：中田泰子（北陸先端科学技術大学院大学）

山口大学 知的財産センター

論文賞：北村寿宏（島根大学）、川崎一正（三条市立大学）、
竹下哲史（長崎大学）、秋丸國廣（愛媛大学）

「国立大学法人18 大学における2014～2018 年度の
共同研究件数の大学間の比較」

「国立大学法人18 大学における2014～2018 年度の
共同研究費受入額の大学間の比較」

ありがとうございました

